

キャリア教育の系統性について

平成28年3月10日
教育課程部
特別活動ワーキンググループ
資料4

高等学校

総則

生徒が自己の在り方生き方を考え、主体的に進路を選択することができるよう、学校の教育活動全体を通じ、計画的、組織的な進路指導を行い、キャリア教育を推進する

特別活動

人間としての在り方生き方について自覚を深め、自己を生かす能力を養う
・ 学ぶことと働くことの意義の理解、主体的な学習態度の確立、進路適性の理解と進路情報の活用、望ましい勤労観・職業観の確立、主体的な進路の選択決定と将来設計

その他の各教科

※新科目「公共」の議論等の審議状況も踏まえ更に検討

中学校

総則

自らの生き方を考え主体的に進路を選択することができるよう、学校の教育活動全体を通じ、計画的、組織的な進路指導を行う

特別活動

人間としての生き方についての自覚を深め、自己を生かす能力を養う
・ 学ぶことと働くことの意義の理解、自主的な学習態度の形成、進路適性の吟味と進路情報の活用、望ましい勤労観・職業観の形成、主体的な進路の選択と将来設計

その他の各教科

小学校

総則

児童が学習課題や活動を選択したり、自ら将来について考えたりする機会を設ける工夫

特別活動

自己の生き方についての考えを深め、自己を生かす能力を養う。
・ 希望や目標をもって生きる態度の形成
・ 清掃などの当番活動等の役割と働くことの意義の理解

その他の各教科

幼児教育

・ 自分で考え、自分で行動する。自分でできることは自分です。

学びのプロセスを記録し振り返り評価する仕組み

今後の学校におけるキャリア教育・職業教育の在り方について(答申)

後期中等教育修了までに、生涯にわたる多様なキャリア形成に共通して必要な能力や態度を育成。

またこれを通じ、勤労観・職業観等の価値観を自ら形成・確立する。

社会における自らの役割や将来の生き方・働き方等を考えさせ、目標を立てて計画的に取り組む態度を育成し、進路の選択・決定に導く。

社会性、自主性・自律性、関心・意欲等を養う。

自発的・主体的な活動を促す。